

エリート の 責任

「今がんばって勉強しておけば、将来は楽だ（遊べる）から」と大人から言われている塾生諸君、それは真っ赤な嘘です。

「エリート」という言葉には、ある種の嫌悪感を持つ方がいらっしゃるかもしれませんが、会社であれ国であれ、その集団をまとめて舵取りをする人は必要であり、その責任が重いのは当然のことです。

良い成績を取り、いわゆる一流大学から一流企業や官公庁に進む人々は、毎日遊んでいて高い給料をもらっているのでしょうか。まずそれはないでしょう。大学卒の学生は、会社に頭脳労働者として採用され、高卒や中卒より給料が高いのが一般的です。しかしそれは、高度な知識・創造力を期待されているわけで、それ相当の権限と責任を伴うものなのです。従って彼らは、社会人になっても、厳しい企業間の競争や技術革新に乗り遅れないために、英語やコンピュータなどの「勉強」を続けなければなりません。少なくとも幹部候補に対して自己研鑽を要求しない会社は、生き残れないでしょう。

'00 年度 1 学期 通知表 結果

9科目別平均		英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技家	9科目計
学年	1	4.6	4.5	4.0	4.1	4.1	21.2	3.9	4.0	4.0	4.2	37.3
	2	4.7	4.9	4.2	4.5	4.4	22.7	3.3	3.5	3.8	4.2	37.4
	3	4.7	4.9	4.1	4.2	4.7	22.6	3.6	3.9	3.6	3.8	37.4

5 科目別内申評定割合 (%)

	英語	数学	国語	社会	理科
5	65	76	38	38	50
4	35	24	35	50	35
3	0	0	26	12	15
2	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0

9 科目合計内申割合 (%)

	'00	'99	'98	主な受験資格高校
40～45	32	29	19	旭丘 菊里
36～39	35	29	28	春日井
32～35	21	14	22	高蔵寺
27～31	12	26	25	春日井東
9～26	0	2	6	私立 他

上表は今年 1 学期の塾生の通知表評定の結果です。毎年その平均の高さには驚かされます。

以前にも書いたことがあります。が、相対評価では、「4」や「5」を全員が取ることはできません。上位 1～3 割の「エリート」に与えられた評価です。評価されたことは素直に喜んで構いませんが、そこには「責任」を伴うことを自覚して下さい。